

Ayako Uehara 上原 彩子 ピアノ・リサイタル

2002年第12回チャイコフスキー国際音楽コンクールのピアノ部門で女性初、日本人初の優勝という快挙を成し遂げ、今年デビュー20周年を迎えた上原彩子。世界的ピアニストとして不動の地位を確立し、輝かしい活躍を続けています。

今回はショパンとリストというピアノ演奏史、音楽史に燦然と輝く二人の作曲家の作品を贅沢に取り上げます。

「ピアノの詩人」と呼ばれたショパンと「鍵盤の魔術師」と呼ばれたリストは同時代に生きた作曲家です。二人の作曲家の全く違った個性、作品の味わいをお楽しみいただけるプログラムとなっております。

約13年ぶりとなる音楽堂でのリサイタルを是非お聴きください。

ピアノ 上原 彩子

Ayako Uehara

3歳児のコースからヤマハ音楽教室に、1990年よりヤマハマスタークラスに在籍。ヴェラ・ゴルノスタエヴァ、江口文子、浦壁信二各氏に師事。第3回エトリンゲン国際青少年ピアノコンクールA部門第1位を始め多くのコンクールで入賞を果たす。2002年6月には、第12回チャイコフスキー国際コンクール ピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。

第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。

これまでに国内外にて演奏活動を行い、2004年12月にはデュトフ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、キングレコードより「上原彩子のくるみ割り人形」「ラフマニノフ13の前奏曲」「上原彩子のモーツァルト&チャイコフスキー」「デビュー20周年記念コンサート・ライブ盤」がリリースされている。

2006年1月10日には「日本におけるロシア文化フェスティバル2006」オープニング・ガラコンサートでゲルギエフ指揮マリンスキー管弦楽団と共演、また、2008年9-10月にはクリスチャン・ヤルヴィ指揮ウィントーン・クンストラ管弦楽団とのオーストリア及び日本ツアーを行ない、2017年3月には、ベルリン及び日本国内4都市において、エリアフ・インバル指揮ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団と共演、高い評価を受けた。2022年にはデビュー20周年を迎えた。

東京藝術大学音楽学部 早期教育リサーチセンター准教授。

Profile

デビュー
20周年



©Akira Muto

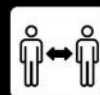
新型コロナウイルス対策の実施



消毒の徹底



マスク着用の徹底



身体的距離の確保